

平成27年度 第1回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成27年4月14日(火) 14:00~16:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 12名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 10名
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成27年4月1日付 人事異動・・・資料1
(2) 小平市公民館運営審議会委員名簿・・・資料2
(3) 小平市教育委員会組織機構図(表)・・・資料3
小平市公民館分掌事務(裏)
(4) 平成26年度公民館定期講座実施状況・・・資料4
(5) 平成26年度東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・資料5
(6) 平成26年度東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・資料6
(7) 平成27年度公民館関係予算・・・資料7
(8) 平成27年度小平市立公民館事業計画・・・資料8
(9) 平成27年度公民館運営審議会日程表・・・資料9
(10) 小平市教育委員会の教育目標及び基本的な考え方・・・資料10
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 平成26年度公民館定期講座実施状況について
(3) 平成26年度東京都公民館連絡協議会職員部会・委員部会
報告について
(4) 平成27年度公民館関係予算について
(5) 平成27年度小平市立公民館事業計画について
(6) 提言について
(7) その他

会議の概要

1 館長報告

- (1) 平成27年4月1日付人事異動について
資料1及び資料2について説明した。
- (2) 組織名変更部署及び担任部長の変更について
資料3について説明した。
- (3) 小平市立公民館条例施行規則の一部改正について
昨年10月から試行的に実施している空き部屋の当日利用申し込みについて、
試行の結果、特に支障がないことから、本格実施する。実施にあたり、施行規則
別表第一で規定している利用申し込み受付期間を「利用日の前日まで」と
していたのを「利用日まで」とした。また、仲町公民館の陶芸窯がガス式から
電気式に変わったことにより、使用料を算定し直した結果、施行規則 別表第
二の仲町公民館陶芸窯使用料を改めた。

(質疑応答)

委 員 「地域学習支援課」の名称について変わった意味は。

館 長 旧生涯学習推進課の文化財担当を市長部局に移し、地域学習に力を入れると
いう意味で名称変更をした。

2 平成26年度公民館定期講座実施状況について

事務局より資料4について説明した。

(質疑応答)

委 員 シルバー大学の受講者は全体で何人になるか。

委 員 実際に受講したので、2～3年前ではあるが、約2,500人と聞いている。
公民館事業のなかで大きな足跡を残している。いいプログラムだと思うが、
2年制になって地域活動を実施しているが、軽い気持ちで参加している方や
特に年配の方は外に出てフィールドワークをするのは大変だと聞いている。

委 員 実際にサークル活動をされている方の数は分かるか。

委員 過去に前後の期の連携ということでの集まりがあった。普通の大学と違い、古い期の方が年配の方だとは限らないが、20期より前の方の参加は少なく40期を過ぎると比較的大勢の方が参加していた。

- 3 平成26年度東京都公民館連絡協議会職員部会・委員部会報告について
事務局、委員より資料5・6について説明した。

(質疑応答)

委員 職員研修の報告の中で「市長が総合教育会議を主催し」とあるが、小平の場合は具体的にどうやるのか。

館長 教育委員会ではなく、市長部局が主体となって会議を開催し、その中で市長と教育委員が協議等をして、教育の大綱を作成するものである。

委員 4月から法律が変わって、今までは一般行政と教育委員会の部分が分かれていたが、市長が教育委員会と連携しながら市における教育政策に関して今まで以上に主体性を持って実施する制度になる。市長部局と教育委員会の風通しをよくする、地域政策とリンクするような形で教育政策が進んでいくと前向きに評価する見方がある一方で、教育委員会や教育行政の独立性が危なくなるのではないかとの見方もある。

会長 具体的に決まれば、早めに知らせてほしい。

- 4 平成27年度公民館関係予算について
事務局より、資料7について説明した。

(質疑応答)

委員 講師謝礼や講座、事業を実施するための費用は、中央館から分館までの合算でだいたいいくらぐらいか。

事務局 中央公民館の講師謝礼は約550万円ほどで、分館は一館につき約93万円で10館分である。

委 員 公民館を使用するときにビデオカメラやプロジェクターがないことがあるが、各分館からの希望はどうなっているのか。

事 務 局 一番希望が多いのがプロジェクターである。ここ数年、毎年1台ずつ順次増やしていて今5館揃ったところである。設置していない分館については利用者から希望があれば、移動して使用していただいている。

委 員 歳出で視聴覚教育だけ抜き出している理由は。

事 務 局 古くから公民館では16ミリ映画会を開催しており、その映写機講習会を開催するため、また、16ミリフィルム購入のための予算ということだったが、近年は16ミリフィルムの購入はなくなり、プロジェクターの購入に費用をあてている。

5 平成27年度小平市立公民館事業計画について
事務局より、資料8について説明した。

(質疑応答)

委 員 いろいろな講座が目標に繋がっているということだが、目標を実現させるためには、具体的な動きが必要だと思う。目標が3つあり、どれも大事な目標だが、どこまで達成したかが分からなければ、目標を達成するための動きにはならない。具体的な動きがあれば途中経過でも教えていただき、また、それについて議論したいと思う。

事 務 局 具体的な動きというと、モデル館に指定した鈴木公民館において公民館事業企画委員会を立ち上げて事業を行っていくということが考えられる。

委 員 公共施設白書によると公民館の利用率が下がっている。実態として利用率が下がっていることについてどう思っているのか、改善策をどのように考えているのか。

事 務 局 地域社会と一緒に講座などを組み立てていくことで地域の人に利用していただけると期待している。その上でも公民館事業企画委員会が重要になっていく。

委員 利用率は長期にわたり落ち込んでいる。分析がないので理由は分からないが、その辺りのことを踏まえて具体的な目標値を定めて動いてもらいたい。

事務局 今後は、公民館事業企画委員会が発足することで、公民館が身近な存在になることで利用率が上がることを期待している。

委員 利用率はどのように算出されるのか。

事務局 午前、午後、夜間という単位で、部屋を利用したかどうかの実績から算出している。

委員 利用者目線で、利用者いかに寄り添っていくかをメインに考えてほしい。

委員 ふらっと来て自由にいられるサロンのような場所があったら、利用率につながる可能性があるのではないか。団体利用が利用する部屋とは別にサロンのような場所があってもよいのではないかと思う。各館で事情があると思うが居場所のような部屋があると公民館に入りやすいのではないか。

6 提言について

提言 公民館事業企画委員会及び公民館事業企画実行委員会が各館に設置された場合、公民館運営審議会はどのような役割を果たすべきか—公民館の課題を踏まえて—について、職員と委員の意見交換を行った。

(質疑応答)

委員 なかまちテラスで武蔵野美術大学の学生が参加していたが、今後も続けていくのか。それとも、なかまちテラス限定のことか。

事務局 武蔵野美術大学の学生には、なかまちテラスの準備の時だけとお願いしてある。ただし、今後も何かの機会を捉えてPR等をお願いすることも考えられる。

委員 若い人の発想で能動的に取り組んでいるので、絶やすことなく続けると次の可能性、面白いものがでてくるのではないか。これだけ大学に囲まれているのだから、ぜひお願いします。

- 委員 公民館のデータの作り方について、公民館はパーソナルのユースというのは最初から前提にないのか。一人で使うということは社会教育法に遡っても念頭にはないのか。ちょっとした時にふっと寄ってそんな所から関係性ができるのではないか。部屋貸しが前提であれば、パーソナルユースの考えがでてこないのではないかと心配になる
- 事務局 社会教育法では、団体を対象としている。地域にある施設として、団体でしか使えないのはもったいないと感じている。社会的に孤立している人がどこへ行けば話し相手がいるかをきける場所が社会的なニーズとして求められている。現行法では団体活動が優先になるが、パーソナルユースの扱いについても考えていきたい。
- 委員 公民館は部屋貸し業ではない。主催講座を提供している。講座については、個人を対象にしているので個人利用の部分と考えていいと思う。空きがあるのであれば、1部屋くらい、個人で来て勉強ができるとよいのではないか。
- 委員 利用率を下げているのは午後6時～10時の時間である。ふらっとだれでも来れる時間を作ったと昨年度の研修会でも聞いたので、前向きに検討してはどうか。
- 会長 その時間だと職員がいない館がある。
- 委員 使う側に寄り添うと認知されるし、利用率が上がる。
- 事務局 「すぐにできる」ものではない。特にアンケートは誰に対して行うのか、着眼点が見受けられなかった。公民館を利用していない人に対するアンケートをどのような方法ですればいいのか教えてほしい。
- 委員 使っていない方がどう考えているかのアンケートを公民館事業企画委員会で実行されるなら1つのアンケートとして了解できる。
- 会長 できない中でできることをやっということ。
- 委員 ホームページの登録の案内などを積極的に利用者に寄り添ってやってください。

委員 アンケートは対象を絞って調査する方法もある。

委員 提言についての意見交換はこれで終わりというわけではなく、今後の課題なので、これからも意見交換はしていきたい。また、分館長の責任において1部屋くらいは何かの時のために押さえておくなど、臨機応変な対応ができるといい。

委員 若年層として、小学生はあるが、中高生、大学生へはどうなのか。就職活動や履歴書の書き方の講座、受験の面接指導などは講座の企画としてどうか。

事務局 今年度、中央公民館の青年教室で就職活動に関する講座を企画している。

7 その他

公民館運営審議会日程について

事務局より資料9について説明した。

〈変更〉自主公運審 8月11日→8月4日

自主研修会 10月20日→10月13日

小平市教育委員会の教育目標及び基本的な考え方

事務局より資料10について説明した。

次回は、5月12日（火）午後2時より、中央公民館会議室にて開催する。